

大日本印刷健康保険組合のデータヘルス計画 (平成27年度～平成29年度)

大日本印刷健康保険組合では平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」の「健康医療戦略」に基づきデータヘルス計画を作成しました。

データヘルス計画とは健保組合で保有している「健診データ」と「疾病データ」を分析し、その結果に基づき保健事業を行っていくというもので「国民の健康寿命の延伸」を目的とした取り組みです。

大日本印刷健康保険組合では平成27年度から平成29年度までのデータヘルス計画については下記の3点に重点をおいて活動を行ってまいります。

1.重症化予防指導の実施（高リスク者）

目的:糖尿病から人工透析へ移行することを防ぎます。

- ① 糖尿病のうちリスクの高い加入者に対して診療所を中心とした重症化予防指導を実施します。
- ② 血糖値(HbA1c値)の改善を目指します。

2.特定保健指導の実施率の向上（中リスク者）

目的:メタボリックシンドローム該当者を減らします。

- ① 被保険者に対する特定保健指導の実施率を引き上げていきます。
平成27年度⇒30%、平成28年度＝40%、平成29年度＝50%
- ② 健診データの分析に基づいて、適正な保健指導コースの提供をしてまいります。

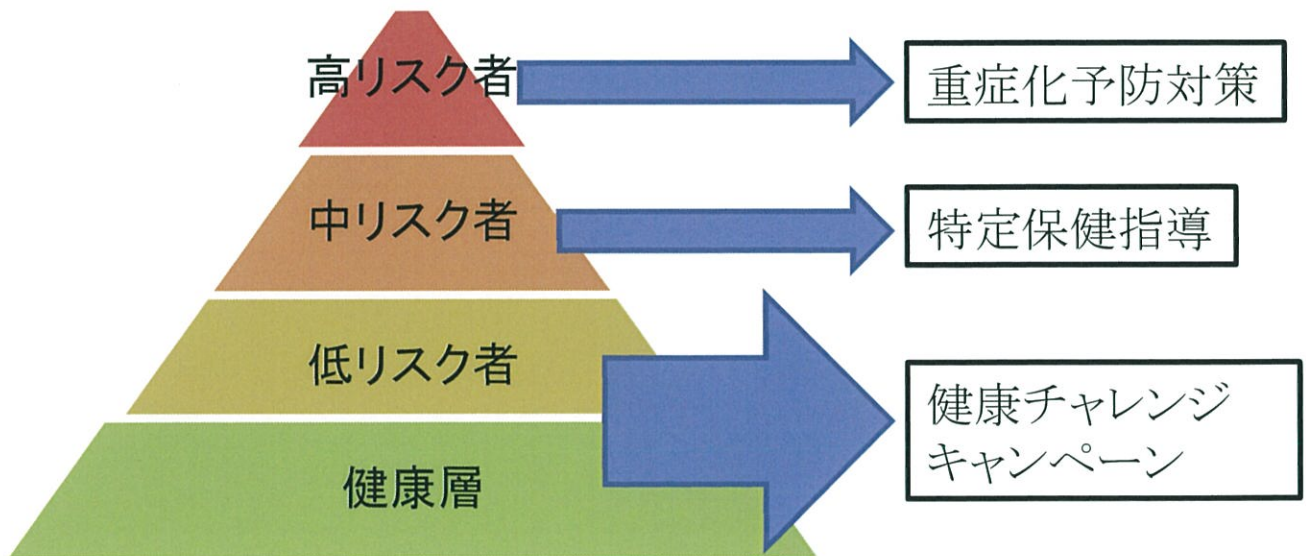
3.健康チャレンジキャンペーンを使った「健康への意識づけ」と「健康習慣づくり」（全員）

目的:低リスク者と健康層を中心として「健康への意識づけ」と「健康習慣づくり」を目指します。

- ① 健康チャレンジキャンペーンを用いて健康への意識づけを行います。
- ② 健康チャレンジキャンペーン期間中に実施した健康行動がその後の生活の中で習慣化されることを目指します。
- ③ 被保険者の60%の達成率を目指します。

大日本印刷健康保険組合 データヘルス計画 概念図

個々の健康リスク状態に応じた施策により
健康寿命の延伸を達成する

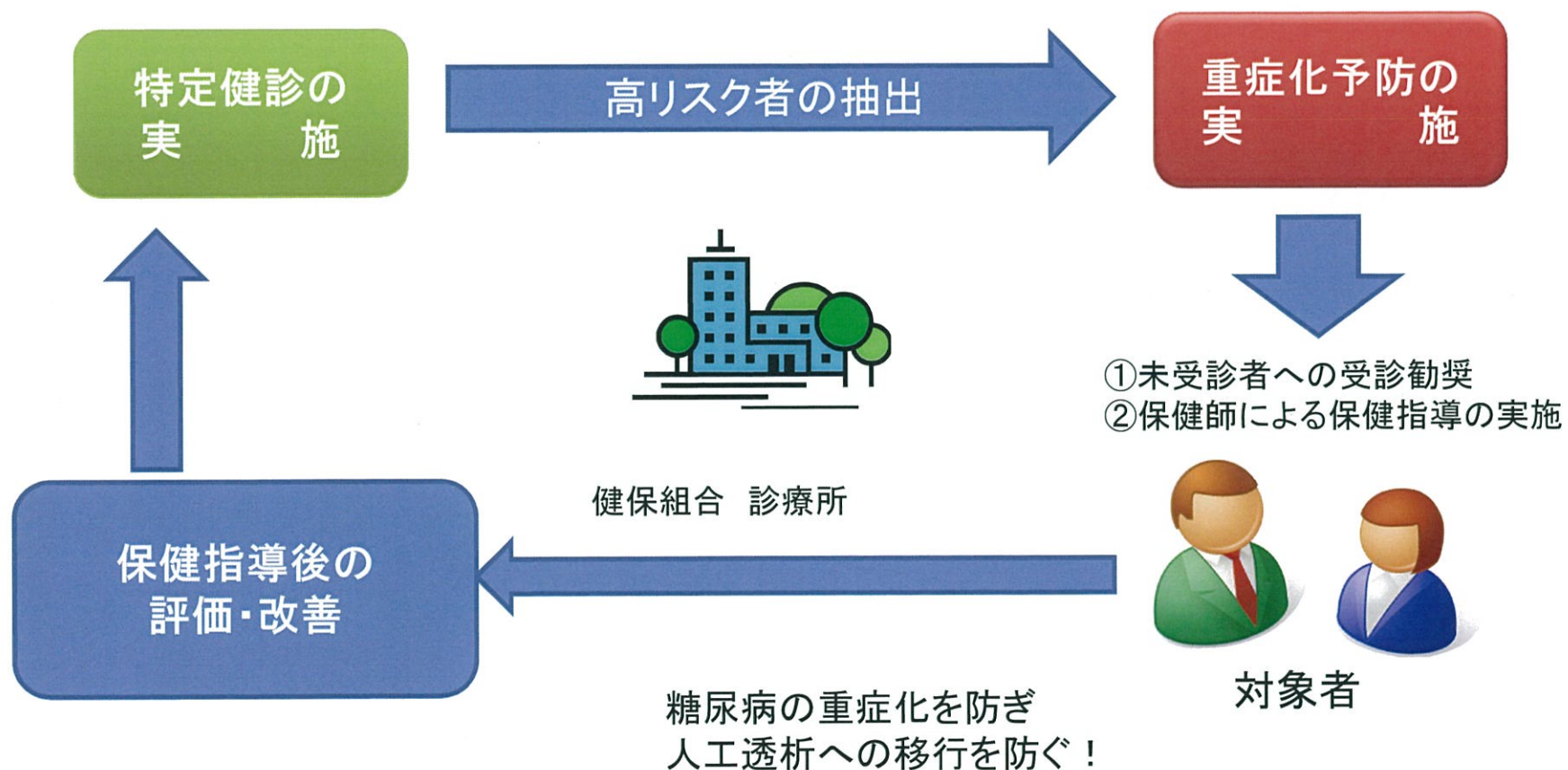


対 実施する保健事業	策 事業内容
重症化予防対策 (糖尿病性腎症等)	主に血糖値の高い加入者に対して実施。 人工透析への移行を防ぐ。
特定保健指導	メタボ該当者への特定保健指導を強化し、 メタボ該当者減少を目指す。
健康チャレンジ キャンペーン	加入者の健康への意識づけと健康習慣 づくりを目指す

保健事業(ハイリスクアプローチ):糖尿病性腎症

保健事業の内容

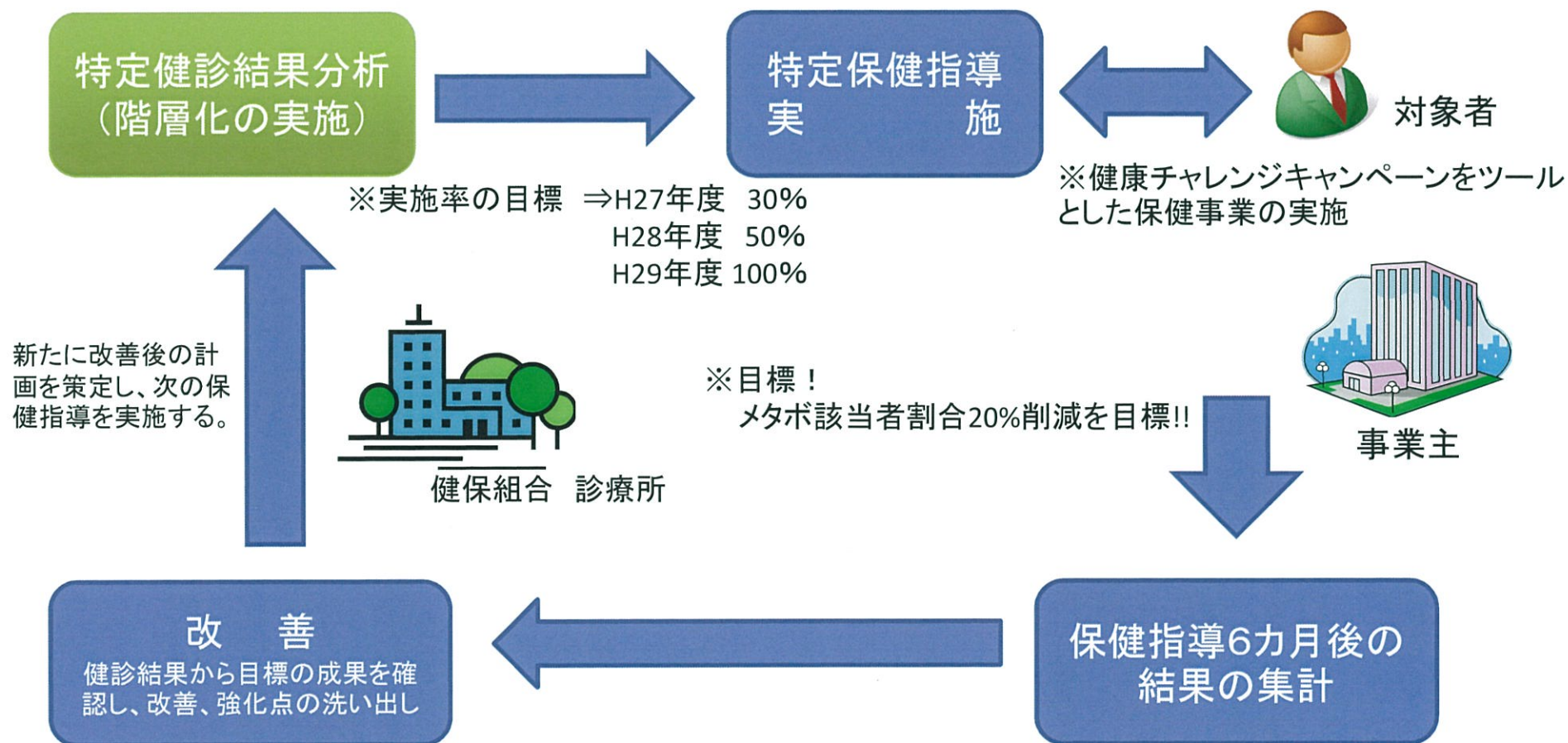
- ① 糖尿病に関して高リスク者に対する重症化予防の実施
- ② 診療所を中心とした保健指導を行う(診療所のない地域に関しては外部業者を検討)



保健事業(特定健診・特定保健指導)

保健事業内容

- ① 特定保健指導の実施者を増加させ、実施率を増加させる。
- ② トップダウンの働きかけによる対象者の拡大
- ③ 「動機付け支援者」に健康チャレンジキャンペーンをツールとした保健事業の実施



保健事業(ポピュレーションアプローチ)

保健事業の内容

- ①低リスク者と健康層を中心として、健康チャレンジキャンペーンによる健康意識を向上を目指し、生活習慣改善を目指す！
- ②被保険者の60%の達成率を目指す！
- ③各事業所の疾病構造を分析し、その分析に基づいた健康チャレンジメニューの実施

